

五井地区の人口 (3月1日現在)	
総数	61,979人
男	32,915人
女	29,064人
世帯数	29,203世帯

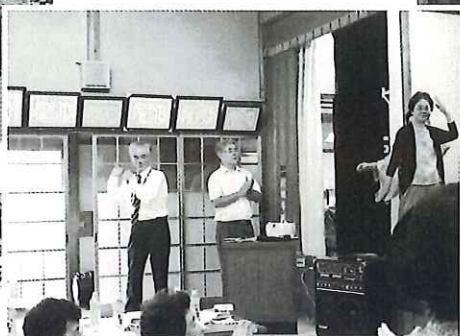


編集：五井地区社協
 総務局広報部
 発行責任者：五井地区会長
 岡田 廣 高
 事務局：市原市社協
 電話：24-0011

敬老会開催報告



旧五井地区



北青柳地区



京葉地区



松ヶ島地区



川岸3地区

月	日	対象町会	開催場所
9	4	バームハイツ五井	川岸公民館
	11	松ヶ島ニュータウン	松ヶ島ニュータウン自治会館
	17	若葉	若葉集会所
		白塚	白塚自治会館
	18	柏原	柏原自治会館
		北青柳	北青柳公民館
	19	君塚・白金	YOUホール
		谷島野	谷島野公民館
		元浜団地	町会長宅
		西野・十五沢・柳原・小折	柳原自治会館
	20	わかば苑	久松
	21	ヴェラハイツ	ヴェラハイツ集会所
22	西青柳	千種コミュニティセンター	
	青柳台・千種3,4丁目	千種コミュニティセンター	
24	松ヶ島	松ヶ島公民館	
	東海地区	東海小学校	
	25	上郷	上郷公民館
		今富	今富町民会館
10	川岸上町・川岸仲町・川岸三軒町	川岸公民館	
	2	ダイアパレス五井	ダイアパレス集会所
	10	旧五井地区	五井小学校
		岩野見	岩野見公民館
	16	椎の実	椎の実公民館
		京葉地区	京葉小学校
23	宿・内出・三ヶ郷・千種1,2丁目	今津朝山公民館	
	五井中央	川岸公民館	
11	12	引田・神代	引田公民館



白金地区



東海地区

五井大市に初出店

12月3日(土)・4日(日)に開催された五井大市に、五井地区社会福祉協議会は地域活性化部会のメンバーを中心に参加しました。

歳末助け合い運動(募金活動)を呼びかけ、募金協力者にポン菓子、風船、飴を提供しました。

小さいお子さんからお年寄りまでご協力頂き

募金総額 82,908円

全額、平成28年度歳末たすけあい募金としました。



小出市長も募金推進に一役



お客様の前でお米がポン菓子に変身!!



五井地区 民生委員児童委員名簿

氏名	担当区域	氏名	担当区域
渡部 博	白金町1, 2丁目	田中 弘和	新田(北部)・フレッシュタウン
大塚 幸子	白金町3, 4丁目	首藤 信男	新田(南部)
高木 慎治	白金町5, 6丁目・五井金杉	田中 幹男	新田(西部)
池田 雅江	君塚1丁目	金澤 祐一	岩崎
杉本 正子	君塚2丁目(稲荷台通り北側)	正司 博徳	玉前・玉前西1~3丁目・五井西3丁目
鎌滝紀代美	君塚2丁目(稲荷台通り南側)五井東3丁目(平成通り東側の一部)	石田 純子	五井西1, 5~7丁目
篠塚 憲司	君塚3丁目	中野 次郎	五井西2, 4丁目
中島 利幸	君塚4丁目	濱田 悟郎	出津・出津東町
谷口 克介	君塚5丁目	和田 清文	松ヶ島・松ヶ島ニュータウン
中島 勉	波測	山本 静	青柳台・千種5~7丁目
永野 幸雄	十四軒	末永喜美枝	北青柳・青柳北2~4丁目
相川より子	本仲(線路の西側)	鮎川 榮	千種5, 6丁目・青柳台
中嶋 雅子	川岸地区上町・ダイアパレス五井	上野 哲二	西青柳・青柳1~3丁目
吉田 守	川岸仲町・ライオンズマンション	元吉 静男	海保(南和・上郷・中郷)
五味川文康	市営若葉住宅・ヴェラハイツ・サンククレイドル	川名 親	中谷
欠 員	五井中央・三軒町・市営住宅(フォロー:時田 擴央・吉田 守)	保坂 恭一	町田・下川原・廿五里・廿五里新田
村山 路子	椎の実・わかば苑	時田 擴央	野毛・塚原
守屋 和恵	五井中央東2丁目	石井 康久	金ヶ原・セツ町
石井 博	五井東1丁目	神原 靖夫	飯沼(線路から海側)
田中 君男	五井東2丁目	相葉 正春	飯沼(線路から山側)
中島 礼子	五井東3丁目	和田さく子	谷島野(北・西)
大野 和男	平田・五井中央東1丁目	福森 英一	谷島野(南・東)・ニュー島野
三枝 照美	平田・五井中央東1丁目	立野 利男	神代・引田
時田 孝子	平田新田・平田市営住宅・平田	鶴岡 紹作	今富
伊藤 仁司	岩野見・五座目・更級1, 2丁目	野澤 光久	西野・小折・十五沢・柳原
並木 健吾	村上	小倉 政江	主任児童委員
時田 輝夫	上宿(吹上通り北側)	中嶋寿美恵	主任児童委員
宮田 幸代	上宿(吹上通り南側)	中村 京子	主任児童委員
根本富士男	下宿	飯島真由美	主任児童委員

五井地区管内小域福祉ネットワークの活動紹介

～地域福祉支援事業を実施しました！！～

白金スマイルネットワーク

日 時：12月16日（金）午前11時～午後2時

場 所：白金町町会会館

参加者：38名

内 容：「シニア忘年会」
として、交通安全講話・
防犯講習会及びビンゴ
ゲームや輪投げ大会など
を実施しました。



わかば福祉ネットワーク

日 時：12月17日（土）午前11時～午後2時

場 所：五井公民館

参加者：55名

内 容：「シニア忘年
会」として、軽体操・
抽選会・クイズ・ウク
レ演奏や役員による
ハンドベルの演奏など
を実施しました。



千種小学校区小域福祉 ネットワーク

日 時：12月10日（土）午前10時～午後2時

場 所：松ヶ島公民館

参加者：約200名

内 容：「もちつき大会」
と「クリスマス会」のコ
ラボレーションとして、
もちつき、ビンゴ大会、
太鼓やマジックなどの披
露、サンタからのプレゼントなどを実施しました。



東海小・中学校区小域福祉 ネットワーク

日 時：12月9日（金）午前10時30分～午後2時

場 所：いきいきセンター東海・海上

参加者：44名

内 容：「ふる里の歴史
を学び地区民との交流を
図る会」として、ふる里
の歴史「久留里街道と十
九堂参り」講演の実施、
輪投げ大会を実施しました。



国府小学校区小域福祉 ネットワーク

日 時：12月18日（日）午前11時30分～午後3時

場 所：カラオケ喫茶「ふれあい」

参加者：71名

内 容：「シニア忘年会」
として、フラダンス、踊
り、一人漫才の披露、カ
ラオケ大会、ゲームなど
を実施しました。



ありがとう ございました

五井地区社会福祉協議会賛助会費

社会福祉に関心を持ち地区社協の趣
旨、目的にご賛同頂いた多くの方々から
598,000円のご協力をいただきました。

地区社協の中核を担う、小域福祉ネット
ワーク活動やサロン事業等に活用させてい
ただきました。

なお、決算については、次号にて報告いた
します。

広報「つくし」は下記の場所でも配布しています

- ・五井支所
- ・サンプラザ市原
- ・YOU ホール
- ・中央図書館
- ・五井公民館
- ・保健センター
- ・福祉会館
- ・千種コミュニティセンター

お知らせ

市原市市民活動センターの廃止に伴い、平成29年4月1日より、五井地区社会福祉協議会の事務局が、下記の場所に移転をします。何かございましたら、下記までご連絡ください。

社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

五井地区社会福祉協議会 (担当・穴澤)

市原市南国分寺台4-1-4

TEL 0436-24-0011

FAX 0436-22-3031

Email info@ichihara-shakyo.or.jp

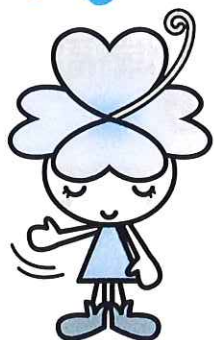
災害ボランティアセンター設置 運営訓練に参加しました



11月23日(水・祝)市原市社会福祉協議会主催の、「災害ボランティアセンター設置運営訓練」が同市市民活動センターで開催され、五井地区社会福祉協議会から15人が参加しました。

災害ボランティアセンターとは主に、行政などでは行き届かない部分をボランティアで担うために、連絡・調整するところとされています。大規模災害が発生した際に、必要なのは市民の方々一人ひとりの力だと思います。今後、いつ大規模な災害が起こるか分かりません。

参加者から「平常時からの連携づくりなどを築いていくことが必要だと改めて考えさせられました。」「災害に対する意識を強く持つことの重要性を感じました。」等の意見が寄せられました。



今後ともよろしく
お願いいたします

五井地区社会福祉協議会の事務局が上記お知らせのとおり、移動します。様々な事業の遂行に、支障を来す事のないように心がけていきます。諸般の事情により、広報紙の発行が遅れた事をお詫び申し上げます。今後、多くの方々から親しまれる紙面作りを模索してまいります。皆様からのご意見をお待ちしております。

編集後記

視察研修 ねむの木学園 (静岡県)

平成29年2月22日、23日 参加者：31名

日本最初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」は、1968年に、宮城まり子氏によって設立されました。その後、小・中・高等部も開校し、自立を視野に子どもたちの実習場所「森の喫茶店 MARIKO」を設立しました。

更に、文化施設として、こども達の稀に見る才能を世間に知らしめす為こども美術館を開館。同氏は、現在、学園で理事長、園長、校長を務め、子どもたちの生活を見、教育の現場に立ちながら健康な人、ハンデを持った人、老人、若者が共に暮らせる生涯学習を基にした「ねむの木学園村」を掛川市で運営しています。



こども美術館どんぐり

当日は園内にインフルエンザが蔓延していた為、こども美術館「どんぐり」のみの視察で残念。

歌手として浴びていたフットライトを、福祉に向けさせた慧眼... 会いたかった。帰路のバスでふと考えた。福祉に長く携わっていると事務的に処理していないか、法で守れぬ弱者がいる事を見過ごしていないか。あるとするなら自分自身の「ハート」の欠如か、そんな思いを抱いた「ねむの木学園」の訪問でした。

文責：伊藤尚樹

「福祉」と書いて「文化」と読む；宮城まり子